

(ア)「技能と技術」誌編集委員（平成16年度）

区分	氏名	所属
編集委員長	池本 喬三	職業能力開発総合大学校能力開発研究センター所長
編集委員	平野 彰彦	北海道職業能力開発大学校
編集委員	渡邊 昭一	福島県立浜高等技術専門校
編集委員	早川 明德	東北職業能力開発大学校
編集委員	井上 裕夫	中央障害者職業能力開発校
編集委員	川上 善嗣	職業能力開発総合大学校建築工学科
編集委員	橋本 浩志	職業能力開発総合大学校能力開発研究センター
編集委員	滝本 貢悦	北陸職業能力開発大学校
編集委員	安野 雅之	新潟県立テクノスクール
編集委員	三輪 修	デンソー技研センター
編集委員	末松 秀之	京都職業能力開発促進センター
編集委員	真崎 佳代	大阪障害者職業能力開発校
編集委員	松崎 学	広島職業能力開発促進センター
編集委員	藤田 紀勝	四国職業能力開発大学校
編集委員	京牟禮 実	九州職業能力開発大学校
編集委員	十河 英二	大分県立佐伯高等技術専門校

(イ)「技能と技術」誌編集委員会の開催

「技能と技術」誌編集要綱に基づき、編集委員会を以下のとおり開催した。編集委員会において、平成16年の編集方針を決定した。

【編集委員会】

平成16年7月22日 職業能力開発総合大学校にて開催

(ウ)「技能と技術」誌ブロック取材

西ブロックと東ブロックの職業能力開発施設と近隣の企業を取材訪問し、その概要を本誌に紹介することを目的とする。

【東ブロック取材訪問】

平成16年11月11日 福島県立浜高等技術専門校
14日 東北電力総合研修センター
出席者：本誌編集委員5名、事務局1名

【西ブロック取材訪問】

平成16年11月25日 九州職業能力開発大学校
26日 安田工業（株）八幡工場
出席者：本誌編集委員5名、事務局2名

(エ)「技能と技術」誌表紙デザインコンクールの開催

このコンクールは、全国のデザイン系を有する職業能力開発施設の職員・学生・受講生等を対象に年1回公募し、アイデアと技量を競い合うことにより一層の技能習得意欲を刺激することを狙いとしている。

なお、本年度は92点の応募があり、入選者は次の12名である。

最優秀作品	小林 伸吾	国立リハビリテーションセンター
優 秀 作 品	岩崎ともみ	北海道立札幌高等技術専門学院
佳 作 (10点)	加来 隆一	長崎県立長崎高等技術専門校
	山田 栄一	長崎県立長崎高等技術専門校
	中川 睦美	静岡県立浜松技術専門校
	石井 秀一	北海道立旭川高等技術専門学院
	掘井 真人	兵庫障害者職業能力開発校
	佐藤 麻未	北海道立札幌高等技術専門学院
	山羽 秀一	兵庫県立神戸高等技術専門学院
	飛田 成浩	山形県立産業技術短期大学校庄内校
	小澤 麻美	長野県立長野技術専門校
	原 愛	島根県立出雲高等技術校

ウ。「職業能力開発報文誌」の編集

本年度は第16巻第2号（通巻32号）及び第17巻第1号（通巻33号）を発行した。内容は次のとおりである

第16巻第2号（通巻32号）

〈報文〉

1	座面昇降装置付き車いすの製作	東北職業能力開発大学校	清本 達也
2	アリザリン関連物資の染色性、抗菌性および抗酸化性について	近畿職業能力開発大学校	登成健之介
3	生産管理システムの試作と螺子製造模擬装置との連携 —事業団体研究開発事業としての技術支援活動—	近畿職業能力開発大学校 近畿職業能力開発大学校	相澤 靖弘 作成 一郎
4	明治期における日本銀行の建築設計組織および設計者と出身学校	北海道職業能力開発大学校	駒木 定正
5	矩形導波管に生成した電子サイクロトロン共鳴プラズマの特性	関東職業能力開発大学校	柴田 兼敏
6	最適化設計教育のためのFEMプログラムと解析課題の作成	近畿職業能力開発大学校 附属京都職業能力開発短期大学校	長嶋喜一郎
7	港湾短大横浜校15年の経過について	港湾職業能力開発短期大学校横浜校	波多江茂樹

〈研究ノート〉

8	引っ掻き試験によるウッドセラミックスの表面性状の評価について	近畿職業能力開発大学校 附属滋賀職業能力開発短期大学校	秦 啓祐
9	RT-Linux/Linuxを用いたリアルタイム制御に関する研究	職業能力開発大学校東京校	中村 信也
10	香辛料関連物質の抗菌抗酸化作用について	近畿職業能力開発大学校	登成健之介
11	三次元CAD/CAMシステムを活用したセグメント型インターナルギヤの製作	四国職業能力開発大学校 附属高知職業能力開発短期大学校 四国職業能力開発大学校 附属高知職業能力開発短期大学校	古賀 俊彦 佐藤 和史
12	監査委員会による経営監視の有効性の改善 —ブルーリボン委員会報告書を中心として—	富山職業能力開発促進センター	林 清久

〈実践報告・資料〉

13	精密微小孔放電加工機の開発	中国職業能力開発大学校 四国職業能力開発大学校	原 圭吾 杉山 誠 椎葉 彰 井上 仁志 天野 隆 西田 和哉
14	セキュリティを考慮したブロック接続型サーバの開発	東海職業能力開発大学校	浅井 英史 佐々木英世
15	プレス機械制御盤へのFAコンピュータの導入	関東職業能力開発大学校 附属千葉職業能力開発短期大学校	辻 隆志 日熊 芳齊 岡部 秀一
16	スチールファイバー製造装置の開発	九州職業能力開発大学校	廣瀬 渉

〈報 文〉

1	室内空気質評価システム	北陸職業能力開発大学校 高度職業能力開発促進センター	滝本 貢悦 植平 一郎 中谷 一 高田 実 金子 哲也 鈴木 哲也
2	海外職業訓練支援プロジェクトの運営管理ツールの開発	職業能力開発総合大学校東京校	平松 健二 安原 雅彦
3	木質在来工法における非露出形接合金物の研究開発 その3 耐力壁における接合特性について	四国職業能力開発大学校	宇都宮 直樹 岩田 純明 松岡 亘
4	中規模なクロスワードパズルの作成方法	関東職業能力開発大学校	加部 通明
5	指文字学習用3次元Webコンテンツの制作	関東職業能力開発大学校	森下 茂 青木 久恵 佐山 鮎美
6	不特定話者に対する音声認識システムの認識率評価	近畿職業能力開発大学校 附属京都職業能力開発短期大学校	殿村 正延
7	温度感応性ポリ（N-イソプロピルアクリルアミド）を用いたエリスロシンBの吸着脱特性	職業能力開発総合大学校東京校	神林 信太郎

〈研究ノート〉

8	COSO報告書における内部統制概念	富山職業能力開発促進センター	小森 清久
9	競争戦略とアプローチの実践に関する一考察	関東職業能力開発促進センター	佐々木 健

〈実践報告・資料〉

10	小型ヒューマノイド二足歩行ロボットの開発 －開発課題実習指導における実践報告－	四国職業能力開発大学校	稲益 悦夫 大本 悦夫 神田 健一
11	制御工学シミュレーション教材の製作 －DCモータの速度制御法－	近畿職業能力開発大学校 附属京都職業能力短期大学校	松岡 良啓
12	ブラシレスDCモータの駆動回路技術	中国職業能力開発大学校	天野 隆 石部 剛史

平成16年度職業能力開発報文誌 編集幹事・編集委員一覧

区 分	氏 名	所 属
編集幹事座長 編集委員長	池本 喬三	業能力開発総合大学校能力開発研究センター所長
編 集 幹 事	梅津 二郎	職業能力開発総合大学校長期課程部長
編 集 幹 事	長藤 友建	東海職業能力開発大学校長
編 集 幹 事	川端 正俊	職業能力開発総合大学校応用研究課程部長
編 集 幹 事	川村 英治	職業能力開発指導部次長
編 集 幹 事	日下 正次	高度職業能力開発促進センター所長
編 集 幹 事	久保 紘	関東職業能力開発大学校長
編 集 幹 事	高石 勝	中国職業能力開発大学校附属福山職業能力開発短期大学校長
編 集 幹 事	森嶋 武	関西職業能力開発促進センター所長
編 集 委 員	浅井 英史	東海職業能力開発大学校助教授
編 集 委 員	遠藤 和芳	北海道職業能力開発大学校教授
編 集 委 員	岡田 正之	九州職業能力開発大学校教授
編 集 委 員	白川 幸太郎	職業能力開発総合大学校能力開発研究センター訓練技法研究室長
編 集 委 員	田島 幹夫	近畿職業能力開発大学校教授
編 集 委 員	中野 弘伸	職業能力開発総合大学校電気工学科教授
編 集 委 員	星野 政博	東北職業能力開発大学校助教授
編 集 委 員	森 公秀	中国職業能力開発大学校教授

エ. 「職業能力開発研究」の編集

「職業能力開発研究」第23巻を発行した。

「職業能力開発研究」第23巻

〈論 文〉

1	高度訓練における訓練効果	松崎 学 菊池 真	広島職業能力開発促進センター 職業能力開発総合大学校
2	情報技術関連の実習支援教材のWeb/XML化	福良 博史	職業能力開発総合大学校東京
3	知的財産法と独占禁止の交錯	櫻井 博行	中央職業能力開発協会
4	PPM手法を適用した訓練評価手法構築の試み 第2報 －平成13年度から平成17年度までの指導員研修改善の経過－	新井 吾朗 砂田 栄光	職業能力開発総合大学校 職業能力開発総合大学校
5	吉田松陰と横井小楠の実習教育	大川 時夫 堤 一郎	職業能力開発総合大学校 名誉教授 職業能力開発総合大学校

平成16年度職業能力開発研究誌専門部会委員一覧

区 分	氏 名	所 属
部 会 長	今村 耿介	開発研究部長
委 員	郡山 力郎	企画調整室長
委 員	桂 賢一	職業訓練教材整備室長
委 員	木村 亨	高度訓練研究室長
委 員	木山 正博	在職者訓練研究室長
委 員	鳥潟 与明	教材研究室長
委 員	白川 幸太郎	訓練技法研究室長
委 員	辻 栄一	調査研究室長
委 員	藤井 信之	産業機械工学科
委 員	菅野 恒雄	情報工学科

(2) 第12回職業能力開発研究発表講演会の開催

第12回職業能力開発研究発表講演会を以下のとおり開催した。

開催日：平成16年10月27日（水）～10月28日（木）

会場：職業能力開発総合大学校 多目的実習・研修棟

テーマ：「創造性の向上をめざした職業能力開発」

発表内容は以下のとおりである。

10月28日（水）

第1会場（口頭発表）

（注）○印は発表者

1	訓練と実際の仕事を結びつける訓練展開上の工夫	○新井 吾朗 藤田 紀勝	能開総合大能力開発専門学科 四国職業能力開発大学校
2	ILO勧告にみる職業能力開発の課題	○谷口 雄治	能開総合大能力開発専門学科
3	一著作権事件を通じてみる知的財産法	○桜井 博行	中央職業能力開発協会
4	起業・新分野進出に対するサービスの充実を目指して	○松本 和重	起業・新分野展開支援センター
5	発想の転換！各種相談窓口から新たな教育訓練技法取組の実践	○花房 明	(独)雇用・能力開発機構 神奈川センター
6	職業能力の新たな方向性を探る研究	○山本 明慶	生涯職業能力開発促進センター
7	総合的かつ体系的な職務分析に関する調査・研究	○木山 正博 植木 正則 辻 栄一 伊藤 英樹 堤 一郎	能開総合大能力開発研究センター 能開総合大能力開発研究センター 能開総合大能力開発研究センター 能開総合大能力開発研究センター 能開総合大能力開発研究センター
8	生涯職業能力開発体系を活用したOJTのプロセス管理手法	○植木 正則	能開総合大能力開発研究センター
9	各分野の最先端収集と分析 —新たなデータベースの仕組み—	○辻 栄一	能開総合大能力開発研究センター
10	応用課程教育の評価と効果	○松崎 学	広島職業能力開発促進センター
11	応用課程学生の数学学力レベルに関する試験と結果	○原 良人	九州職業能力開発大学校
12	能力開発への取り組み 2004 —太陽エネルギー併用型住宅 第1期—	○角本 邦久	東職業能力開発大学校

第2会場（口頭発表）

（注）○印は発表者

1	木造五重塔の振動特性に及ぼす心柱の影響	○登坂 弾行 松留慎一郎 前川 秀幸	能開総合大研究課程建築・造形専攻 能開総合大建築システム工学科 能開総合大建築システム工学科
2	ファルタリングアルゴリズムによる搭状トラスの損傷同定解析	○武藤 俊広 遠藤 龍司	能開総合大研究課程建築・造形専攻 能開総合大建築システム工学科
3	海洋プラットフォームの応力解析と地震応答解析	○阿部 正慶 遠藤 龍司	能開総合大研究課程建築・造形専攻 能開総合大建築システム工学科
4	共振時における連成振動解析	○亀田 裕介 遠藤 龍司	能開総合大研究課程建築・造形専攻 能開総合大建築システム工学科

5	インテリア施工における壁紙の性能に関する実験	○川上 義嗣 梅津 二郎 塚崎 英世 大澤 一人	能開総合大建築システム工学科 能開総合大建築システム工学科 能開総合大建築システム工学科 滋賀職業能力開発短期大学校
6	面材を重ね張りした準耐力壁の水平せん断耐力	○前川 秀幸 松留慎一郎 渋谷 泉	能開総合大建築システム工学科 能開総合大建築システム工学科 能開総合大建築システム工学科
7	屋上緑化の熱的効果に関する研究	○橋本 幸博 寺澤 寛	能開総合大建築システム工学科 栃木県立県央高等産業技術学校
8	金属板材のスプリングバックレスV曲げ加工	○重石 健登 小川 秀夫	能開総合大研究課程機械専攻 能開総合大精密機械システム工学科
9	鋳鉄と軟鋼の溶接法の検討	○鈴木 仁 藤井 信之 安田 克彦 千石 友之	能開総合大研究課程機械専攻 能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大機械制御システム工学科 株式会社スギノマシン
10	溶接技能の解析とその利用技術 (第1報)	○福原 圭吾 安田 克彦 指宿 宏文	能開総合大研究課程機械専攻 能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大機械制御システム工学科
11	溶接技能の解析とその利用技術 (第2報)	○指宿 宏文 安田 克彦 福原 圭吾	能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大研究課程機械専攻
12	技能データを用いたアルミニウム合金材の溶接	○塚本 文彦 福本 秀樹 田中 晃 二村 久夫	九州職業能力開発大学校 九州職業能力開発大学校 九州職業能力開発大学校 九州職業能力開発大学校
13	六価クロムに代わる環境無付加の表面処理法	○木村 栄治 小沢 圭二	埼玉職業能力開発促進センター 材料科学研究会

第3会場 (口頭発表)

(注) ○印は発表者

1	Woodceramicsを用いたガスセンサの開発	○太田 聖一 須田 敏和 柿下 和彦	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科
2	RF-MBE法によるZn ₃ N ₂ 薄膜の作製	○中塩 賀雄 須田 敏和 柿下 和彦	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科
3	セルフチューニング型スライディングモード制御による	○小宮山大吾 窪田 政一	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科
4	回折光学素子用Si、Cr、ガラスの超微細加工	○齊藤 一人 鳥居 康弘 田村 仁志	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科
5	最適化コーディング計算機プログラムの光学的再生像評価法	○ローケーテオン 鳥居 康弘 田村 仁志	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科
6	周波数変調半導体レーザーを用いた2波長フリンジカウント法	○作山 宗亨 小野寺理文 石井 行弘	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科
7	ハイスピードカメラを利用した半導体レーザー位相シフト干渉法	○ザイナルビンアタン 小野寺理文 石井 行弘	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科

8	2光波混合を用いる位相相関計による3次元物体の認識	○田邊 賢治 石井 行弘 高橋 毅	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科
9	広帯域レーザーを用いる広領域計測用位相シフト干渉法	○東 正登 石井 行弘 高橋 毅	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科
10	周波数変調半導体レーザーを用いる	○横 宣志 石井 行弘 小野寺理文	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科
11	視覚障害者用メイク支援システムに関する研究	○笹川 千春 花房 昭彦 不破 輝彦	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大福祉工学科 能開総合大福祉工学科
12	車いす駆動動作シミュレーションシステムに関する研究	○菅原 基棋 花房 昭彦 不破 輝彦	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大福祉工学科 能開総合大福祉工学科
13	骨格・筋モデルを有する手・前腕のモデリングに関する研究	○大口 智暁 花房 昭彦 七尾 和之 不破 輝彦	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大福祉工学科 能開総合大福祉工学科 能開総合大福祉工学科

－特別講演－

「自動車の明日を拓く環境技術－電気駆動システムの開発－」

講演者 大川 正 尋 氏

中部職業能力開発促進センター所長



10月28日（木）

第1会場（口頭発表）

（注）○印は発表者

1	定員の変更に伴う指導法の改善 （中卒者を対象とした建築施工系木造建築科3年課程を事例として）	○中村 伸二 川上 清臣 橋本浩一郎	熊本県立熊本高等技術訓練校 熊本県立熊本高等技術訓練校 熊本県立熊本高等技術訓練校
2	やる気と活力ある職業人の養成をめざして	○翁長 博	沖縄県立具志川職業能力開発校
3	エクセルを用いた出席管理ツールの試作について	○高松 大輔	兵庫県立神戸高等技術専門学院
4	起業ニーズに呼応した県立高等技術専門校運営の改善	○尾形 憲一 相楽 薫 佐藤 喜幸 益子 慎治 遠藤 憲一	福島県立郡山高等技術専門校 福島県立郡山高等技術専門校 福島県立郡山高等技術専門校 福島県立郡山高等技術専門校 福島県立郡山高等技術専門校
5	新規システム・ユニット訓練住宅診断サービス科における	○丸山 正実 野田 久善	中部職業能力開発促進センター 中部職業能力開発促進センター
6	IT分野における民間職業訓練	○蟹江 知彦 山木 祐美子 大河原和枝 窪田 澄子	有限会社 青山テクノロジー 有限会社 青山テクノロジー 有限会社 青山テクノロジー 有限会社 青山テクノロジー

第2会場（口頭発表）

（注）○印は発表者

1	沖縄県の離島における在職者訓練とその実践報告	○林 文彬 川上 菊子	沖縄職業能力開発大学校 石垣市商工会
2	公共職業訓練向けe-Learning教材作成支援ツールの開発	○藤田 紀勝 新井 吾朗 山崎 敏範	四国職業能力開発大学校 能開総合大能力開発専門学科 香川大学
3	「学習の取り組み方調査票」による テーマ別開発課題における学生の学習方略	○後野 隆	九州職業能力開発大学校
4	Linux環境下における色覚変換装置	○水田 善朗	四国職業能力開発大学校
5	触覚呈示装置の利用について	○内藤 光明	東海職業能力開発大学校
6	二足歩行型ロボットの開発（開発課題）	○吉田 啓孝 田中 晃 中村 勝之	九州職業能力開発大学校 九州職業能力開発大学校 九州職業能力開発大学校
7	波長多重化光通信システム用ホログラム分波器の教材作成	○石井 行弘 河合 滋 小野寺理文 高橋 毅	能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科

第3会場（口頭発表）

（注）○印は発表者

1	磁気飽和渦電流探傷法の数値解析による評価	○浅井 晃一 橋本 光男	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科
2	自然き裂の診断手法の開発	○大西 裕之 橋本 光男	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科
3	内部噴射型イオナイザの除電特性	○鶴田 奈美 岡野 一雄 今園 浩之	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科 能開総合大研究課程電気・情報専攻
4	軟 X 線が生成した荷電粒子の再結合特性	○徳広 京亮 岡野 一雄 今園 浩之	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科 能開総合大電気システム工学科

5	コロナ放電型イオナイザのEMI低減に及ぼす静電シールドの効果	○長尾 諭志 岡野 一雄 今園 浩之	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科 能開総合大電気システム工学科
6	鉄損と磁気飽和を考慮したシンクロナスリラクトンスモータの最高効率ベクトル制御系におけるトルク制御特性に関する検討	○富重 一博 荒 隆裕 山本 修	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科 能開総合大電気システム工学科
7	M値EWO-MPSC方式を用いた光CDMAシステムの特性評価	○櫛引 理 寺町 康昌 松嶋 智子	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大情報システム工学科 能開総合大情報システム工学科
8	TSPにおける分散型自己組織化マップ	○牧岡 毅 寺町 康昌 宇野 達也	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大情報システム工学科 能開総合大情報システム工学科

10月28日（木）

ポスター発表

1	新分野への事業展開に向けた技術支援の実践活動報告 —能力開発を基本とした産学連携のモノづくり	○熊一 修 湯川 隆	起業・新分野展開支援センター
2	切削ドリルの速度・トルク制御機能を有する 木材加工制御システムの製作	○山本 修 川上 善嗣 塚崎 英世 市川 修 荒 隆裕 梅津 二郎	能開総合大電気システム工学科 能開総合大建築システム工学科 能開総合大建築システム工学科 能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大電気システム工学科 能開総合大建築システム工学科
3	新規システム・ユニット訓練住宅診断サービス科 における	○野田 久善 丸山 正実	中部職業能力開発促進センター 中部職業能力開発促進センター
4	建築における自動設計研究の教育訓練法への応用	○水嶋 克典	能開総合大建築システム工学科
5	ねずみ鋳鉄溶接部の引張強度	○市川 拓 藤井 信之 安田 克彦 武井 徹	能開総合大研究課程機械専攻 能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大長期課程産業機械工学科
6	各種溶接法による球状黒鉛鋳鉄溶接部の機械的強度	○本多 弘範 藤井 信之 安田 克彦 深瀬 敦史	能開総合大研究課程機械専攻 能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大機械制御システム工学科 能開総合大長期課程産業機械工学科
7	アキシアルギャップベアリングレスモータの半径 方向制振制御の設計	○尾上 良佑 市川 修 千葉 明 深尾 正	能開総合大研究課程機械専攻 能開総合大機械制御システム工学科 東京理科大学 理工学部 武蔵工業大学 工学部
8	リアルタイムLinuxを用いたベアリングレスモータ 制御システムの開発	○鮎川 友治 市川 修 千葉 明 深尾 正	能開総合大研究課程機械専攻 能開総合大機械制御システム工学科 東京理科大学理工学部電気電子情報工学科 武蔵工業大学工学部機械システム工学科
9	自助用マニピュレータの制御に関する研究	○佐々木丞太 花房 昭彦 不破 輝彦	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大福祉工学科 能開総合大福祉工学科
10	装具装着時の歩行解析に関する研究	○船山洋一郎 花房 昭彦 不破 輝彦	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大福祉工学科 能開総合大福祉工学科
11	車椅子のアシスト制御に関する検討	○ゲイウケンゲイツ 高橋 久	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科

12	サージ防護デバイスのエネルギー協調	○椎名 祐介 木島 均	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科
13	マルチレートサンプリング制御法を用いたマニピュレータの高性能制御	○篠原 優介 島田 明	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科
14	マルチレート外乱オブザーバを用いたメカナム形全方向移動車の位置と姿勢の制御	○矢嶋総一郎 島田 明	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科
15	非同期投入時における円同系同期発電機の過度シミュレーション	○中山 大樹 荒 隆裕 山本 修	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科 能開総合大電気システム工学科
16	軟 X 線式静電気制御システムの応答特性	○芳賀 亮太 岡野 一雄 今園 浩之	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科 能開総合大電気システム工学科
17	AC コロナが生成した荷電粒子の輸送特性	○吉岡ひさよ 岡野 一雄 今園 浩之	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電気システム工学科 能開総合大電気システム工学科
18	多結晶Zn ₃ N ₂ 薄膜の作製とその評価	○谷口 純一 須田 敏和 柿下 和彦 篠原 祐二	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科 能開総合大電子システム工学科 能開総合大長期課程電子工学科
19	マイクロ液晶パネルによる光学波面パターン発生システムの開発	○永井 潜弥 鳥居 康弘 田村 仁志	能開総合大研究課程電気・情報専攻 能開総合大電子システム工学科

(3) 平成16年度職業訓練教材コンクールへの協力

厚生労働省、(独)雇用・能力開発機構、中央職業能力開発協会、(独)高齢・障害者雇用支援機構共催の平成16年度職業訓練教材コンクールにおいて、事務局として協力を行った。

ア. 応募論文の概要

○所属別応募数 (合計52点)

- ・ 都道府県立能開施設 19点
- ・ (独)雇用・能力開発機構立施設 16点
- ・ 認定職業訓練施設 16点
- ・ (独)高齢・障害者雇用支援機構立施設 1点

○形態別応募数

- ・ 教科書、指導書等 15点
- ・ ビデオ、CD-ROM等 13点
- ・ プログラム、CAIソフト等 4点
- ・ 実習装置、模型、シミュレータ等 17点
- ・ 上記の形態を組合せた教材 3点

イ. 職業訓練教材コンクール審査結果

● 厚生労働大臣賞 (特選) 2点

教材名	作成者	所属施設
施工図書実習テキスト及び課題	坂田 勝彦	九州職業能力開発大学校
聴覚障害者用マルチメディア教材	片浦 隆司、中村 和敏	(株)デンソー技研センター

● 厚生労働大臣賞 (入選) 3点

教材名	作成者	所属施設
基本介護技術「介護者の健康管理」 「体位・姿勢交換」「移動の技術」	橋村あゆみ、小幡 秀子 石井 弘子、小林 京子 長村喜美恵	(財)介護労働安定センター
木造建築 在来工法の墨付け教本	木村 良一	熊本県立熊本高等技術訓練校
目盛の10分割訓練機器 Div. Simulator	石垣 諭	静岡県立あしたか職業訓練校

● (独)雇用・能力開発機構理事長賞 1点

教材名	作成者	所属施設
木質構造における限界耐力計算手順テキスト	海江田 勲	中国職業能力開発大学校附属 島根職業能力開発短期大学校

● 中央職業能力開発協会会長賞 4点

教材名	作成者	所属施設
TCCSボード (Toyota Computer Controlled System)	高木 義博、小森 一善	トヨタ自動車(株)海外サービス技術部サービス教育室
空調シミュレータ	高橋 研吾、矢津 卓也	栃木県立県央高等産業技術学校
① 応接・マナー教材 ② 調理写真集、調理献立参考例 ③ 体に合わせた調理参考例	駒津 君代	東京都立飯田橋技術専門校
絶対合格シリーズ②第二種電気工事士筆記試験 －鑑別用教材－ 材料編	古谷野 徹、山崎 博行 戸草内 紘一、井出上 純子	栃木県立県南高等産業技術学校

● (独)高齢・障害者雇用支援機構理事長賞 1点

教材名	作成者	所属施設
木材加工用機械 「目標達成チェックシート」	小林 憲司	北海道障害者職業能力開発校

ウ. 審査委員会構成

役職等	氏名	所属
審査委員長	池本 喬三	職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター 所長
審査委員	宮本 義三 関谷 家康 田中 久 川村 英治 荒 隆裕 松留慎一郎	中央職業能力開発協会 技能検定部長 国立職業リハビリテーションセンター 職業訓練部長 厚生労働省職業能力開発局能力開発課 課長補佐 (独)雇用・能力開発機構職業能力開発指導部次長 職業能力開発総合大学校 電気システム工学科 教授 職業能力開発総合大学校 建築システム工学科 教授

エ. 事務局

能力開発研究センター職業訓練教材整備室

4. 高度実践技術・技能審査会業務

(1) 概要

最近の急激な産業構造の変化のなかで、企業は製品等の高付加価値化や新分野への展開を図ることが必要となっており、これらを担っていく知識および技能・技術や企画・開発能力、応用能力等高度な職業能力を有する人材の育成が急務となっている。このような産業界のニーズに対応するために、平成11年度から職業能力開発大学校が設置され、生産現場におけるものづくりのリーダーを育成する応用課程が開設されたところである。

雇用・能力開発機構は、各職業能力開発大学校の応用課程を教育訓練に係る専門的技術的事項に関し、「高度な実践技術を有するものを育成する課程」として課程認定し、当該課程修了者に対して「高度な実践技術を有する者」として個人認定をおこなうために、平成12年10月に高度実践技術・技能審査会を本部に設置した。平成13年度からはこれら認定業務の事務局は当研究センターに移管され、平成15年度には沖縄職業能力開発大学校の応用課程を認定し、各職業能力開発大学校の課程認定を終了した。

(2) 平成16年度固定認定者数（821名）

・職業能力開発総合大学校東京校応用課程	91名
・北海道職業能力開発大学校応用課程	95名
・東北職業能力開発大学校応用課程	96名
・関東職業能力開発大学校応用課程	74名
・北陸職業能力開発大学校応用課程	71名
・東海職業能力開発大学校応用課程	59名
・近畿職業能力開発大学校応用課程	76名
・中国職業能力開発大学校応用課程	66名
・四国職業能力開発大学校応用課程	66名
・九州職業能力開発大学校応用課程	90名
・沖縄職業能力開発大学校応用課程	37名

個人認定者数の推移

年度（平成）	12	13	14	15	16
認定者数（人）	282	634	784	808	821

【事務局】

能力開発研究センター企画調整部企画調整室